

終電後、

カ
プセル
ホテル
で、

上司
に

微熱
伝わる

夜。

Presented by Meg

1

終電後、カプセルホテルで、
上司に微熱伝わる夜。

第 1 話









あーあ
お前の所為で
終電逃したし

すみません…

歩けなくなるまで
飲むなよ
まったく

どうするかな…
野宿ってわけにも
いかないし

どこか泊まれる
所探すか…

泊まれる所って
言っても…

お、

ココ
いいんじゃないか？

ん？

ほら
見てみるよ

カプセルホテル

女性利用可

予約する

カッ
カプセルホテル!?

女性利用可
なんだなく

内装も綺麗だし
これなら
いいだろう？

このまま1人で
帰すよりは安心だ

え…
でも！
大丈夫…



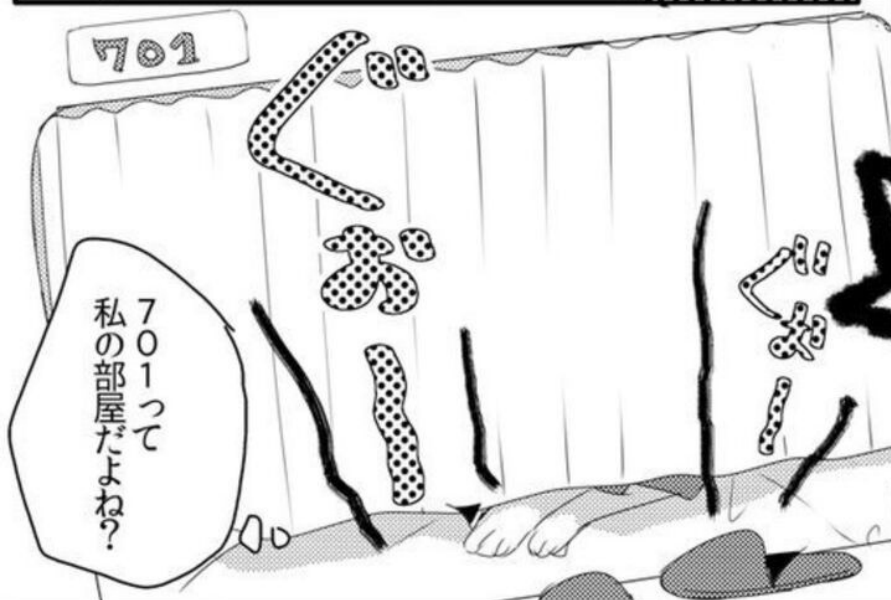


お風呂も
綺麗だったし

ゆっくり
寝れそう...

はあ...
今日はさすがに
飲みすぎちゃったなあ

お風呂入って
スッキリしよ



701って
私の部屋だよね?

あれ!?
誰かいる!?



起きない...



起きてくださいー!
部屋
間違ってますよ!



ね...
寝てる











やだ...
こんな...



恥ずかしすぎる...

...なあ



今どんな顔してるかわかってる？

え...



その顔…
すごいそそる



…え？



ど…
どんなつて…

わかんない？

羽田野…
さん？









は…羽田野
…さんっ!?

あ…ッああ



あ…あ

ちゅ

ビュッ



こんなの…

ダメ…です



あッ…あッ!
や…あッ



普段は
俺に盾突いて
くるくせに

今日は可愛いな



チロ

チロ…



ドキン

ドキン

は

は

は

ドキン

力... 抜けよ

丁寧に
ほぐしたから

もう大丈夫
だろうな...

ドキン

は

!!

は... は...
なに? なに?

ドキン

ズン

は

終電後、カプセルホテルで、 上司に微熱伝わる夜。(1)

著者 Meg
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。